

第294号 (27期、第6号)
2009年11月14日発行
光が丘ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町
3-32-11-511
発行責任者 塩原継雄

ゆり北

- 〔今号の主な記事〕
- ・ゆり北文化展案内 (1面)
 - ・ゴミ問題を考える (2-3面)
 - ・賃貸エントランス改修工事 (4面)
 - ・子どもいもほり大会 (4面)
 - ・読者投稿：おもちゃ病院 (4面)

文化の秋をゆり北で 開催間近！第23回ゆり北文化展

日時：

11月21日 (土) 正午～午後6時

11月22日 (日) 午前10時～午後4時

会場：赤塚新町小学校体育館

地元で「文化の秋」を満喫してみませんか。会場の体育館の中をちょっと覗いてみましょう。散歩のついでにでもお気軽に立ち寄ってみてください。楽しそうな声が聞こえ、コーヒーの香りがしてきますよ。

【作品展示】

(絵、書、写真、手芸、工芸、他)

団地にお住まいのみなさまの作品だけでなく、近隣住民、小学校児童、学童クラブの子供たちの作品も展示します。ご期待下さい。

【喫茶コーナー「ゆりの木」】 (無料)

作品の感想など皆様の交流と憩いの場としてご利用下さい。

【コンサート】

22日 (土) 午後3時～5時30分

出演は、板橋交響楽団、ゆりの木コーラス、ジャンベクラブ、赤塚交響吹奏楽団の皆様です。幕間には世界のワインをお楽しみ下さい。

【ワークショップ・文化教室】

☆囲碁・将棋コーナー☆

(21、22両日) 21日は稲葉先生が指導碁を行います。

☆ジャンベ教室☆

(21日 (土) 午後1～2時)

アフリカの太鼓をたたいてみません

か。

☆手芸教室☆ (22日 (日) 午前10時～午後3時)

かわいいイカのストラップを作ってみませんか。

☆太極拳表演☆

(22日 (日) 午前11時～11時40分)

模範演技の後で、あなたも体験してみませんか。

【防災講演会】

22日 (日) 午後1時30分～3時30分

題目：地震から子どもを守る

講師：国崎信江 (危機管理教育研究所代表)

講師の活動実績は、HP

(<http://www.kunizakinobue.com>) をご覧下さい。



昨年の文化展の様子。ジャンベ教室。

古布・古着回収

古布・古着回収のお知らせ (ゆり北文化展と同時開催)

日時：

11月21日 (土)

正午～午後3時

11月22日 (日)

午前10時～午後3時

会場：赤塚新町小学校体育館入り口

対象物：洗濯済みの古布・古着 (古布と古着は分けてお持ち下さい)

但し、布団、座布団、マット類、帽子、靴下、手袋。ぬいぐるみ、カーテン、学生服、背広上下は回収出来ません

※ただ今、出品作品 (絵、書、写真、手芸、工芸、生け花など) を大募集中です！



今、ゴミを考える

生活環境部からの提言

2009年11月、ゆり北に住んで4半世紀が過ぎました。分譲棟の大規模修繕工事が終わって約1年、ごみ集積所の鍵付き扉にも慣れてきた昨今です。「ごみ」が「資源」と呼ばれ始めて約10年、すっかり生活に定着してきました。

2007年10月から変更になった「資源とごみの分け方・出し方」も皆様のご協力により順調に推移しております。

それなのに何故？いまさら？とお思いでしょうか、ちょっとした配慮と気配りで、快適な生活環境が近付くとしたら、努力してみる気になりませんか？地球に暮す人間として「エゴ的部分をeco的に」しませんか。

資源とゴミの分け方・出し方

申 し 込 み 制	分類	電話番号	マナー違反です	不要品回収業者の「無料で」の声に注意！ 高額の料金を請求されることも！
	1. 粗大ごみ 家具・寝具・自転車・座椅子 等一辺の長さが30cm四方以上のもの。	粗大ごみ受付センター 03-5296-7000 いつでも電話が出来るよう携帯 に番号登録しておきましょう。	お布団が可燃ごみコンテナの中 にどかっ！ 紙類置き場にドン！ 粗大ごみセンターに、申し込ん でください。	
	2. エアコン・テレビ・冷蔵庫 庫・洗濯機等 大型家電製品	家電リサイクルセンター 03-5296-7200	小型テレビがゴミ集積所に遠慮 がちに置いてありました。	
	3. パソコン	パソコン3R推進センター 03-5282-7685	ノート型パソコンが不燃ごみの中 にありました。	
	4. 動物の死体	板橋西清掃事務所 03-2926-7441	ペット問題は悩ましい。	

清掃事務所で収集できないものがあります。

不明な場合は、上記「板橋西清掃事務所」へお問い合わせください。

- 有害性のあるもの、危険性のあるもの、引火性のあるもの、著しく悪臭を発するもの
 - ①ガスボンベなど
 - ②石油類（ガソリン・軽油・灯油・塗料・エンジンオイル・ブレーキオイルなど）
 - ③塩酸・硫酸・クロムなど ④花火・マッチ・現像液・バッテリーなど
- 区の収集、処分作業に支障をきたすもの
 - ①ピアノ・タイヤ・オートバイ・自動車
 - ②消火器・金庫・薬品・土・ブロックなど



それでは、ゆり北自治会として集積所に出されたごみの現状から少しでも改善し、みんなで気持ち良く暮らし、そしてお財布にも、地球にも優しくする方法を考えてみましょう。「3R」聞いたことがありますね！えーと・・・
それではここでおさらいを（次ページに続く）

ゴミ問題解決のための3R

REDUCE

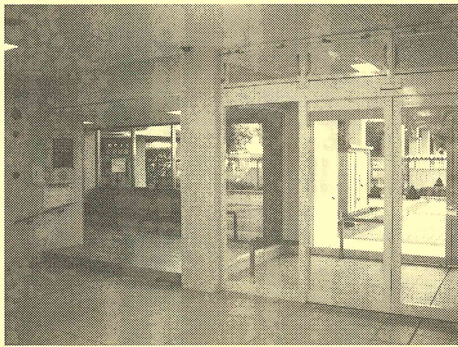
REUSE

RECYCLE

	改善する方法	ゆり北の現状
	1番目の「R」は、Reduceリデュース、 これはごみの減量化、言い換えればごみになる物を作らないということ。 2番目の「R」は、Reuse リユース、 これは再使用、再利用のことです。 その原因と改善方法には色々ありますね。 まず①買い癖をなくそう・・・バーゲンで安いからといって、必要の無い物まで買っていませんか？そして¥100だからといって買った物等、すぐに捨てていませんか？「安物買いの銭失い」にもなります。 そして②詰め替え商品の利用・・・洗剤類・シャンプー・リンスは当たり前、食品類も増えました。 奥の手③冷蔵庫残り物一掃dayを作ろう・・・あれ～こんな所にこんな物が、あ～あ賞味期限が切れちゃったと嘆く前に、週に一度くらいお財布の口をギュッと閉めて「無国籍料理」とか、鍋物の季節「何でもぶち込む閨鍋もどき」で明るい食卓にしてみても如何ですか？お味噌にチーズなんて良く合いますし、新しい発見もあるかもね。 取っておきのリユース 限られた自然や資源を残すにはリサイクル商品を買うことです。 そして3番目の「R」は、Recycle リサイクル 皆さまもうすっかり慣れましたね。これは再生利用のことです。もう一度、資源として活用できるものを分別回収するシステムです。ゆりの木北団地のごみ集積所には不燃ごみ、可燃ごみのコンテナの他に資源専用の回収ボックスや置き場があります。 ①びん ②かん ③ペットボトル④ペットボトルのキャップ⑤紙類（段ボール・新聞・雑誌・本の他に雑紙と呼ばれるいわゆる商品の箱や包装紙チラシ）も資源です。但し、紙は紙でも回収できない紙（混ぜてはいけない）があります。感熱紙・内側にアルミ箔が貼ってある紙パックです。 この他にスーパー「よしや」さんでは食品用トレイ・ペットボトル・ペットボトルのキャップ・紙パック・乾電池を回収しています。 ゆりの木保育園では食品トレイ・紙パック・ボトル容器（プラスチック製）乾電池を拠点回収しています。 ゆりの木商店街のカクシン電気店では乾電池の回収をしています。	マイバッグはかなり定着してきました。少量のときは「レジ袋いりません」の一言を。 まだ使えるもの、ちょっとだけ壊れたもの、萎びた野菜等がゴミ箱に、「もったいない」と思います。 衣替えの季節です。衣類・古布は毎年11月の自治会文化展で回収しています。小さくなったもの、まだ利用できる物等たくさん集まります。再利用できる物は、欲しい方に無料で差し上げています。ぜひこの機会を活用されることをお勧めします。 フリーマーケットに。 お友達・グループで出店してみたいはいかがですか？光が丘公園では毎月第2日曜日に開催しています。賢く、楽しく、さらに収入も！ ゆりの木夏まつりのフリーマーケットで。 段ボール箱を用意して、次の夏祭りに備えるのもひとつのアイディアですね。 グリーンマーク・・・古紙を利用した紙製品に エコマーク・・・環境への負荷が少ない製品に 省エネマーク・・・一定の省エネ基準をクリアした製品に付いています。 「ごみを見ればその人の品格がわかる」と言っても過言ではないでしょう。それではゆり北のごみ置き場を見てみましょう。 ★ごみ袋の中に可燃と不燃が混在 ★生ごみが袋から出ている ★割れたガラス・食器・蛍光灯がむき出しのまま ★そしてごみがコンテナの手前ばかりに入れてある ごみ袋は腕の運動よろしく奥まで放り込みましょう。私たちが毎日出すごみは、クリーンスタッフさんに、真夏の炎天下木枯らしの吹く寒い中、黙々と整理整頓して頂いています。 仕事だから当然と言う前に、相手の立場で行動するよう心がけたいですね。そうすることでお互いが気持ちよく出来るのではないのでしょうか。 それでは、毎日分別をするぞ！と決意します。まず家内に箱（袋）を3個用意します。 ①可燃ごみ用 ②不燃ごみ用 ③資源用 これはどなたも実践していること、問題は「可燃にするか、資源にするかそれがあなたの品格」なのです。ちょっとした心がけとは、手にしたものを手放す時がポイントです。手放す前に洗ってしまうか、つけおき洗いをするのです。 食品トレイ・空き缶・空き瓶は洗えば資源の箱（袋）に分別されます。それから分別がわからないごみってありますね。プラスチック類・ゴム製品類・革製品類は07年10月から「可燃ごみ」になりました。 「不燃ごみ」は従来どおりです。傘（金属と布・ビニール）は不燃、バック（革・合成皮革・布・金属）は可燃の根拠とは、材質の比率だろうと思います。それではベルトはどっち？迷ったらはさみ・カッターで切り分け、金具は不燃ごみに革・布は可燃ごみに分別すれば最高です。

ごみを見れば品格がわかる
ごみは分別（ぶんべつ）、人は分別（ふんべつ）…… 生活環境部

賃貸棟エントランス 改修工事終了



夏から続いていた、賃貸棟のエントランス部分の改修工事が、10月28日に行われた都市機構による完了検査を持ちまして終了しました。長い期間、騒音や振動、埃などで大変な思いもありましたが、その甲斐あって、近代的なエントランスとなりました。エントランスドアが自動ドアになり、郵便受けも大型化され、その他全体に大変明るくなりました。自動ドアはバリアフリーとして大変役立つと思います。又、自転車置場も整理されましたので、駐輪スペースを守って皆さんのきちんとした御利用をお願いします。以下に主な改修内容を記します。

改修工事の概要

- ・ 出入り口のオートドア化
- ・ 駐輪対策（通路の確保、自転車の整理）

- ・ 白を貴重とした空間
- ・ フラットな壁面（盤類等の処理）
- ・ バリアフリー（手摺・スロープ）
- ・ エントランス外回りも含めた夜間照明の確保
- ・ 監視カメラの設置
- ・ 棟番号設置（共通デザイン）による来訪者への配慮
- ・ 郵便受けのA4サイズ化
- ・ 多機能大型掲示板の設置
- ・ 思い出の壁（既存タイルを一面残す）
- ・ ベンチ周りの改修（生活環境部）

青健主催

子どもいもほり大会に行きました

10月10日の土曜日に、お父さんと母さんといっしょに自ち会のおいもほりに行きました。

ろうそくひろばにあつまってからみんなでいっしょにはたけに行きました。はたけについたら人が大ぜいいました。ほかの小学校のお友だちに会いました。校長先生もいました。それからおもいをほるばしょまで行きました。たくさんほっていいと言われたのでうれしかったです。ぐん手をしてシャベルでほったら、大きいおもいが出てきたのでうれしかったです。でもとちゅうでなにかわからない虫にさされてしまって、いたくてないてしまいました。お父さんといっしょにさされたところをあらに行ったので、ぜんぶほれなくてさびしかったです。

おもいが30本くらいほれたので、おじいちゃんおばあちゃんと、お友だちと、ギターの先生にあげました。おかあさんがふかしいもと、スイートポテトと、サラダを作ってくれました。おいしかったです。

(5号棟 小野寺英恵、新町小2年)

《編集後記》今号はゴミ問題、リサイクル関連の記事が集まりました。投稿記事の「おもちゃ病院」もリサイクルゴミ問題につながりますね。

21-22日のゆり北文化展では住民の皆さん方による多彩な催し、展示を楽しむことができます。ぜひ足を運んでください。

「ゆり北」では読者の皆様からの投稿、情報提供、取材依頼などを募集しています。以下の広報部までご連絡をお待ちしております。

片山（14号棟511号室） 瀧澤（6号棟201号室） 安倍（8号棟501号室）

おもちゃ修理で悪戦苦闘 —わたしがおもちゃ病院をはじめた訳—

私はボランティア活動の一環としておもちゃの病院を始めて4年になるが、おもちゃ修理は年寄りの余暇活動としては実におもしろいと思っている。現在、日本は大不況と言われているが、戦前や終戦直後の生活を体験した者から見れば、まだ現在の経済状況のほうが大分ましである。時代の変化と言う大きなものがあり一概には比較は不可能であるが、子供たちが持っているおもちゃから見ても本当に不況なのかと疑問さえ生じて来る。いまだ時の子供のおもちゃの高級化とその数、戦前生まれの私には想像できない。高級な、おもちゃが壊れた場合、今の子供たちやお母さん方の対応が私が子供のころと比較すると著しく異なっている。

私がおもちゃの修理を始めたのは、こわれたおもちゃを直すことが好きだからだ。近年地球温暖化に端を発し

読者投稿

環境問題がにわかにクローズアップされ、「再利用問題」が流行語になった。物を修理、再利用することに関心が集まるようになりおもちゃ修理の件数が年々増えてきた。

おもちゃ病院の運営上で一番問題なのは、おもちゃ修理の技術ではなく、支援者の協力とサポートして下さるスタッフの確保である。ゆりの木児童館とゆりの木保育園からは絶大なるご協力を頂き、曲りなりにこれまでおもちゃ病院を継続しているが、この2施設のおもちゃの修理を基本にして、少し個人からの修理も受け付けていきたい。活動範囲を伸ばすためのPRとスタッフの募集を兼ね自治会のご協力をえて、昨年文化展にもコーナーを設けて頂いた。今年の文化展でも、コーナーを設けて頂き、おもちゃ病院のPRとおもちゃの修理の実演をしたいと思いますので興味のある方は是非立ち寄って欲しい。

(6号棟 光が丘おもちゃ病院代表 佐竹竹美)